

料金表

(令和3年9月30日改正)

この料金表は、令和3年10月1日以降の利用に適用します。

供用施設の利用料金の構成

F: 利用料金 = H: 取扱手数料(13,300円^{*1}/利用1件当たり) + A: 施設の運転に係る経費 + Z: 追加経費^{*2} + W: 放射性廃棄物の貯蔵、処理及び処分に係る経費^{*2}

*1 櫛葉遠隔技術開発センターについては利用1件当たり900円とする。

*2 該当ある場合のみ徴収する。

*3 取扱手数料及び各経費は消費税を含む。

JRR-3								
		成果非占有		成果占有		トライアルユース		
区 分		一般課題 (成果公開利用)	優先利用課題 (成果公開利用)	一般課題	利用促進課題	トライアルユース課題 (初回利用、年1回)	備 考	
		基礎料金	優先料金	一般料金	特別料金	取扱手数料及び経費の免除		
1G	高分解能粉末中性子回折装置 (HRPD)	23,860	84,100	280,800	212,060	0	1日当たり	
2G	偏極中性子三軸型分光器 (TAS-1)		204,570	794,680	588,450			
3G	精密中性子光学装置 (PNO)							
7R	熱中性子ラジオグラフィ装置 (TNRF)		36,320	77,020	62,800			
T1-4-1	即発ガンマ線分析装置 (PGA)							
T1-4-6	多目的単色熱中性子実験ポート(高角) (MUSASI-H)		49,950	135,160	105,390			
T2-1	中性子応力測定装置-1 (RESA-1)		76,050	246,470	186,910			
T2-3-1	多目的単色熱中性子実験ポート(低角) (MUSASI-L)		49,950	135,160	105,390			
T2-4	高分解能三軸型中性子分光器 (TAS-2)		76,050	246,470	186,910			
C2-1	冷中性子三軸型分光器 (LTAS)							
C2-2	偏極中性子反射率計 (SUIREN)		52,680	146,790	113,900			
C2-3-3-1	冷中性子ラジオグラフィ装置 (CNRF)							
C2-3-3-2	パルス中性子機器開発装置 (CHOP)		33,470	64,840	53,870			
C3-1-2-1	中性子光学システム評価装置 (NOP)							
C3-2	集光型偏極中性子超小角散乱装置 (SANS-J)		52,680	146,790	113,900			
VT-1		8,500	66,200	254,610	188,770	0	1サイクル・1標準容器当たり	
RG-1~4								
BR-1~4		15,870	73,910	263,430	197,190			
HR-1~2		80	630	2,450	1,820			1時間・1標準容器当たり
気送照射設備 (PN-1~2)		10	30	110	90			1分・1標準容器当たり
放射化分析用照射設備 (PN-3)		260	550	1,460	1,140			1時間当たり
SI-1		10	20	50	40			1時間・1標準容器当たり
DR-1		1,430	7,020	25,270	18,890			1サイクル・1標準容器当たり
SH-1		2,800	14,480	52,640	39,310			

(単位：円)

Z (追加経費)			
実験室	実験室 1	4,170	1日当たり
	実験室 2		
	PN3 実験室	4,970	
キャプセル	水力照射設備用アルミキャプセル	13,860	1個当たり
	気送照射設備用ポリエチレンキャプセル	500	
	気送照射設備用インナーキャプセル		
	放射化分析照射設備用 ポリエチレンキャプセル	390	
	放射化分析照射設備用高純度キャプセル	530	

*ただし、1日未満は1日とみなす。

*「適用料金表」に表示の標準容器とは、外径25mm×長さ65mmのキャプセルに相当する容器とする。

*JRR-3のシリコン照射設備を利用してシリコン製造する場合、8,000円/時間を適用する。

注) 原子炉運転の変動に伴う係数

「適用料金表」は、JRR-3が最大熱出力20MWで、運転時間(602時間/1サイクル)の場合の料金である。熱出力の変動に伴う係数は次のとおりとし、運転時間の変更については実績とする。
 実験及び1サイクル照射の料金は、表示の料金にこの係数及び運転時間の実績を乗じた額とする。
 時間照射及び気送管の料金については、「運転出力によって定める係数」のみを乗じた額とする。

(1) 運転出力によって定める係数

10MW未満	0.5
10MW以上15MW未満	0.75
15MW以上20MW未満	1.0

(2) サイクル単位の利用の場合で1サイクルに満たない場合、1日当たりの料金を換算して徴収する。1サイクルは25日で計算する。

タンデム加速器		(単位：円)				
区 分	成果非占有		成果占有		トライアルユース	備 考
	一般課題 (成果公開利用)	優先利用課題 (成果公開利用)	一般課題	利用促進課題	トライアルユース課題 (初回利用、年1回)	
	基礎料金	優先料金	一般料金	特別料金	取扱手数料及び経費の免除	
タンデム加速器	2,190	26,780	102,850	58,950	0	ビーム利用時間1時間当たり

注)

- (1) ビーム利用時間とは、イオンビームを利用するために当該装置を専有している時間とし、1時間未満は1時間とみなす。
- (2) 当該装置の専有時間は、装置の調整時間と照射実施時間（利用開始時刻から利用終了時刻までの全時間で、試料交換や真空引きの時間も含むものとする。）の合計時間とする。
- (3) 1利用当たりの調整時間は、1時間とする。

燃料試験施設		(単位：円)				
区 分	成果非占有		成果占有		トライアルユース	備 考
	一般課題 (成果公開利用)	優先利用課題 (成果公開利用)	一般課題	利用促進課題	トライアルユース課題 (初回利用、年1回)	
	基礎料金	優先料金	一般料金	特別料金	取扱手数料及び経費の免除	
照射後試験費 (β-γ施設)	3,950	6,350	19,710	13,690	0	1点当たり

注)

- (1) 施設の運転に係る経費は、利用者が試験を申し込む試験項目の点数に、料金単価（試験点数1点当たりの料金）を乗じたものの合計となる。試験項目別点数は、下表に示す。
- (2) 試験点数1点当たりの料金は、運転に係る年間の経費を年間運転時間で除して算定する。ただし、この際の年間運転時間は実際に試験を実施することが可能な時間であって、点検作業等の時間は含まないものとする。

	試験項目	点 数	備 考
集合体	燃料集合体及び燃料要素受入れ (NH-25)	120	
	燃料集合体及び燃料要素受入れ (MSF-1)	150	
	小試料受入れ	60	
	キャスク水分析	1.5 x	x = サンプル数
	再組立済燃料搬出	受入れに準ずる	
	燃料集合体プール内外観観察	14	
	燃料集合体特異部外観写真 (プール)	(1+1.5n)	n = 撮影箇所
	燃料集合体セル内外観観察	45	
	燃料集合体外観写真撮影	(23+4n)	n = ロールフィルム数
	燃料集合体特異部外観写真 (セル)	(1+1.5n)	n = 撮影箇所
	燃料集合体寸法測定 (セル)	(6+0.1x)	x = 測定箇所数
	燃料集合体放射線測定 (セル)	11	
	燃料集合体重量測定 (セル)	6	
	燃料集合体クラッド採取	(7+2n)	n = 採取箇所
	燃料集合体洗浄	11	
	燃料集合体解体 (PWR,BWR)	53	
	燃料集合体解体 (ATR)	77	
	支持格子拘束力の緩和	1.4 x	x = 試料数
燃料要素	燃料要素復元 (パンクチャー孔下部切断)	3 x	x = 燃料要素数
	燃料要素復元 (長尺端栓TIG溶接)	(7+3 x)	x = 燃料要素数
	燃料要素復元溶接部リーク検査	(14+5 x)	x = 燃料要素数
	燃料要素復元燃料要素挿入	5 x	x = 燃料要素数
	燃料要素引抜き測定	(5+4 x)	x = 引抜き本数
	燃料要素外観観察	21 x	x = 観察本数
	燃料要素外観連続写真	(21x+4n)	x = 燃料要素数 n = ロールフィルム数

燃料要素特異部外観写真	$(1.5 + 1.5n) x$	x = 燃料要素数 n = 撮影箇所
燃料要素クラッド採取	$(7 + 2nx)$	x = 燃料要素数 n = 採取箇所
燃料要素洗浄	7.5x	x = 燃料要素数
燃料要素寸法測定	$(6 + 4n) x$	x = 燃料要素数 n = 方向数
γスキャンニング (グロス)	13x	x = 燃料要素数
γスキャンニング (定点スペクトル)	$(6 + 7n) x$	x = 燃料要素数 n = 測定箇所
γスキャンニング (ステップ)	$[2x + (L \times 2 \times 0.015) nx]$	x = 燃料要素数 n = 測定箇所 L = 燃料要素長
燃料要素X線透過試験	$(9 + 11n) x$	x = 燃料要素数 n = 方向数
燃料要素X線透過フィルム複写	7.5x	x = 複写枚数
渦電流探傷試験	18x	x = 燃料要素数
酸化膜厚さ測定	$(12 + 3n) x$	x = 燃料要素数 n = 方向数
パンクチャー試験	22.5x	x = 燃料要素数
ガス分析	60 x	x = 燃料要素数
脱ミート (平均燃焼度 45GWd/t未満) (平均燃焼度 45GWd/t以上)	$(2 + 3 x)$ $(2 + 45 x)$	x = 試料数
燃料要素切断 (マーキング)	$(2 \times 7.5/2) x$	x = 試料数
燃料要素切断 (切断)	$(2 \times 7.5) x$	x = 試料数
燃料要素下部端栓処理	1 x	x = 試料数 (キャップを被せる方式)
燃料要素下部端栓加工	3 x	x = 試料数 (端栓切削する方式)
試験片		
試験状況写真	$(1 + 1.5nx)$	x = 試料数 n = 撮影枚数/試料
引張試験用試料作製	$(5 + 7.5x)$	x = 試料数
引張試験 (室温)	$(6 + 8x)$	x = 試料数
引張試験 (高温)	$(11 + 12x)$	x = 試料数
圧縮試験用試料作製	$(5 + 7.5x)$	x = 試料数
圧縮試験 (室温)	$(6 + 8x)$	x = 試料数
圧縮試験 (高温)	$(11 + 12x)$	x = 試料数
内圧破裂試験用試料作製	$(5 + 12x)$	x = 試料数
内圧破裂試験 (室温)	$(6 + 12x)$	x = 試料数
内圧破裂試験 (高温)	$(6 + 17x)$	x = 試料数
プレナムスプリング特性試験	$(9 + 10x)$	x = 試料数
金相試料作製	$(15 + 10x)$	x = 試料数
金相試料前処理	$(6 + 4x)$	x = 試料数
マクロ (マイクロ) 観察・写真撮影	$(6 + 1.5n) x$	x = 試料数 n = 枚数/試料
肉厚、ギャップ、酸化膜測定	各 1nx	x = 試料数 n = 枚数/試料

気孔率、結晶粒測定	各 3nx	x = 試料数 n = 枚数/試料
マイクロサンプリング	(5+2nx)	x = 試料数 n = サンプリング箇所/試料
マイクロサンプリング試料搬出	(3+4x)	x = 試料数
オートラジオグラフィ	(10+3.5x)	x = 試料数
被覆管内外面観察用試料作製	(6+8x)	x = 試料数
被覆管内外面観察・写真撮影	(6+2n) x	x = 観察撮影面数 n = 撮影方向数/観察撮影面
SEM観察用試料作製	(6+15x)	x = 試料数
SEM観察	(15+1n) x	x = 試料数 n = 観察箇所
EPMA試験（点分析）	2nx	x = 試料数 n = 測定箇所
EPMA試験（面分析）	(17+6nj) x	x = 試料数 j = 測定核種数 n = 測定箇所
硬度測定用試料作製	(2+12x)	x = 試料数
硬度測定	(5+4x)	x = 試料数
重量密度測定用試料作製	(15+3x)	x = 試料数
重量密度測定	(6+7x)	x = 試料数
ペレット密度測定（開気孔率測定）	(6+7x)	x = 試料数
ペレット中含有ガス分析（試料作製）	(6+1x)	x = 試料数
ペレット中含有ガス分析（分析）	(10+30x)	x = 試料数
ペレットX線回折（試料作製）	(6+4x)	x = 試料数
ペレットX線回折（測定）	(4+2n) x	x = 試料数 n = 測定箇所/1 試料
ペレットX線回折（焼鈍）	(2×7.5×2) x	x = 試料数
被覆管内圧破裂試験（外周長測定）	(2×7.5/3) x	x = 試料数
被覆管SCC試験[内圧破裂法]（試料作製）	(21+8x)	x = 試料数
被覆管SCC試験[内圧破裂法]（試験）	(6+18x)	x = 試料数
被覆管超微小硬さ測定（試料作製）	(6+4x)	x = 試料数
被覆管超微小硬さ測定（測定）	(5+1nx)	x = 試料数 n = 測定箇所/1 試料
FE-SEM観察（試料作製）	(6+15x)	x = 試料数
FE-SEM観察（観察）	(15+1n) x	x = 試料数 n = 測定箇所/1 試料
その他の作業	人・時	本表に掲げていない試験項目及び作業等

常陽

照射後試験費

(1) 照射燃料集合体試験施設 (FMF)

(単位：円)

区 分		成果非占有		成果占有		トライアルユース	備 考
		一般課題 (成果公開利用)	優先利用課題 (成果公開利用)	一般課題	利用促進課題	トライアルユース課題 (初回利用、年1回)	
		基礎料金	優先料金	一般料金	特別料金	取扱手数料及び経費の免除	
非破壊試験	集合体外観検査	2,340	4,730	28,530	21,430	0	1時間当たり
	集合体ナトリウム洗浄						
	集合体寸法測定						
	集合体解体						
	集合体部材切断						
	ピン重量測定						
	ピン詳細外観検査						
	渦電流探傷試験						
	ピン寸法測定						
	ピン(ラップ管)γスキャン						
	ピンパンクチャ						
	ピン切断						
	X線ラジオグラフィ						
	特殊燃料集合体再組立						
MARICO再組立							
	X線CT検査	4,240	28,840	71,010	63,900	0	
金相試験	光学顕微鏡観察	2,360	4,690	33,080	25,980	0	1時間当たり
	SEM観察						
輸送	「常陽」受払	2,700	4,970	36,560	29,460	0	1時間当たり
	事業所内運搬						
	事業所外運搬 (TN6-4, 5)						
	事業所外運搬 (P-3S)						
	もんじゅ受入						

(2) 照射燃料試験施設 (AGF)

(単位：円)

区 分		成果非占有		成果占有		トライアルユース	備 考
		一般課題 (成果公開利用)	優先利用課題 (成果公開利用)	一般課題	利用促進課題	トライアルユース課題 (初回利用、年1回)	
		基礎料金	優先料金	一般料金	特別料金	取扱手数料及び経費の免除	
製造試験	ペレット製造	5,870	14,520	42,880	29,480	0	1時間当たり
	ピン溶接及び溶接検査						
	X線透過検査						
	光学顕微鏡観察						
物性試験	融点測定	7,440	16,090	45,140	31,740	0	1時間当たり
	FP放出試験						
	O/M比測定						
	X線回折						
	熱伝導率測定						
分析試験	EPMA分析	6,120	23,620	52,690	39,280	0	1時間当たり
	蒸発性不純物分析						
	ICP発光分光分析						
	ICP質量分析						
	ハロゲン分析						
	水分分析						
	アクチニド核種分析						
	燃焼率測定						
	放射線測定						

(3) 照射材料試験施設 (MMF)

(単位：円)

区 分		成果非占有		成果占有		トライアルユース	備 考
		一般課題 (成果公開利用)	優先利用課題 (成果公開利用)	一般課題	利用促進課題	トライアルユース課題 (初回利用、年1回)	
		基礎料金	優先料金	一般料金	特別料金	取扱手数料及び経費の免除	
強度試験	被覆管引張試験	1,830	13,020	43,630	27,460	0	1時間当たり
	被覆管急速加熱バースト試験						
	被覆管バースト試験						
	密度測定 燃料ピン						
	密度測定 部材						
	引張試験						
	シャルピー衝撃試験						
	試験片加工、調整作業						
	磁化測定						
	ガス封入						
	単軸クリープ試験	380	1,150	3,320	2,980		
物性試験	光学顕微鏡観察	1,890	24,190	54,060	37,890	0	1時間当たり
	FE-TEM観察						
	ガス分析						
	TEM観察						
	硬さ試験						
	熱伝導率測定						
	熱膨張率測定						
	X線回折						

ホットラボ施設		(単位：円)				
区 分	成果非占有		成果占有		トライアルユース	備 考
	一般課題 (成果公開利用)	優先利用課題 (成果公開利用)	一般課題	利用促進課題	トライアルユース課題 (初回利用、年1回)	
	基礎料金	優先料金	一般料金	特別料金	取扱手数料及び経費の免除	
コンクリートセル	1,660	3,920	24,280	18,260	0	1時間当たり
顕微鏡セル	430	1,020	6,300	4,730		
鉛・鉄セル	690	1,640	10,170	7,650		
X線・γスキャン	2,570	6,100	37,770	28,390		
XMA						
微細組織解析装置	7,720	18,300	113,300	85,180		

ただし、1時間未満は1時間とみなす。

放射光科学研究施設							(単位：円)
区 分	研 究 開 発				研究開発以外	備 考	
	成果非占有		成果占有		商業利用等		
	一般課題	競争的資金利用	一般課題	産業利用促進（条件付）			
ビームライン利用料	9,760	23,120	69,370	9,760	117,580	1シフト（8時間）当たり	

- 1) 放射光科学研究施設については、令和2年3月31日以前の利用区分が適用されます。詳細については、施設供用担当者又は施設担当者にお問い合わせ下さい。
- 2) 研究開発利用における成果占有課題に対する利用及び研究開発利用以外については、ビームライン利用料に加えて、公益財団法人高輝度光科学研究センターが定める専用ビームラインのビーム使用料312,000円/シフトを代行徴収する。なお、当該ビーム使用料が改定された場合には、改定後のビーム使用料を代行徴収する。

ペレトロン年代測定装置		(単位：円)				
区 分	成果非占有		成果占有		トライアルユース	備 考
	一般課題 (成果公開利用)	優先利用課題 (成果公開利用)	一般課題	利用促進課題	トライアルユース課題 (初回利用、年1回)	
	基礎料金	優先料金	一般料金	特別料金	取扱手数料及び経費の免除	
分析料金	3,650	14,640	40,390	32,500	—	1 試料当たり
Z (追加経費)						
前処理料金			44,700			1 試料当たり一律

タンデトロン施設							(単位：円)	
		成果非占有		成果占有		トライアルユース	備 考	
区 分	一般課題 (成果公開利用)	優先利用課題 (成果公開利用)	一般課題	利用促進課題	トライアルユース課題 (初回利用、年1回)			
	基礎料金	優先料金	一般料金	特別料金	取扱手数料及び経費の免除			
分析料金	炭素ライン		2,420	6,130	20,200	9,570	0	1 試料当たり
Z (追加経費)								
前 処 理 料 金	骨・炭酸カルシウム		4,830			1 試料当たり		
	土壌・木片等		18,710					
	海水		1,990					
	二酸化炭素		20,820					
	試料プレス		370					
分析料金	ヨウ素ライン		4,080	10,340	34,080	16,140	0	1 試料当たり
Z (追加経費)								
前処理料金	試料プレス		370			1 試料当たり		

放射線標準施設		(単位：円)				
区 分	成果非占有		成果占有		トライアルユース	備 考
	一般課題 (成果公開利用)	優先利用課題 (成果公開利用)	一般課題	利用促進課題	トライアルユース課題 (初回利用、年1回)	
	基礎料金	優先料金	一般料金	特別料金	取扱手数料及び経費の免除	
加速器中性子・ γ 線照射設備	680	3,970	58,930	45,570	0	1時間当たり
RI中性子照射設備	190	1,520	14,900	10,170		
γ 線照射設備	30	320	3,480	2,030		
X線照射設備	10	450	7,900	3,830		
β 線照射設備	10	210	6,600	2,800		

注)

(1) 照射設備の利用時間は、放射線を利用するための加速器、照射装置等の設備を専有している時間とし、1時間未満は10分単位で表す。利用料金は、1の位を繰り上げて、10円単位とする。

(2) 当該設備の専有時間は、装置の調整時間と照射実施時間（利用開始時刻から利用終了時刻までの全時間で、照射物品の設置、交換の時間も含むものとする。）の合計時間とする。

檜葉遠隔技術開発センター		(単位：円)			
区分	エリア区分	利用料金		備考	
			一般料金のA の特別措置料金		
モックアップ試験施設 試験棟	ロボット試験エリア*1	高さ 0m～40mまで	133	67	1m ² ・1日当たり
	共通エリア*2	高さ 0m～10mまで	82	41	
Z (追加経費)					
実験室等	試験棟付属建屋 研究準備室*2		133	67	1m ² ・1日当たり
	試験棟付属建屋 研究室1		6,384	3,216	1日当たり
	試験棟付属建屋 研究室2		6,251	3,149	
	試験棟付属建屋 研究室3		7,714	3,886	
	試験棟付属建屋 研究室4 *3		10,108	5,092	
	試験棟付属建屋 研究室5 *3		9,576	4,824	
	試験棟付属建屋 研究室6 *3		8,778	4,422	
	試験棟付属建屋 会議室		1,064	536	1時間当たり*4
	研究管理棟 利用者室1		7,980	4,020	1日当たり
	研究管理棟 利用者室2		8,379	4,221	
	研究管理棟 利用者室3		8,911	4,489	
	研究管理棟 共用会議室		898	452	1時間当たり*4
	研究管理棟 講義室1		599	302	
	研究管理棟 講義室2		615	310	
	研究管理棟 バーチャルリアリティ室 (VRシステム)		3,890	1,960	
	研究管理棟 第1会議室		931	469	
	研究管理棟 第2会議室		1,180	595	
	研究管理棟 多目的室		5,387	2,714	
	研究管理棟内*5		17	9	1m ² ・1時間当たり*4
倉庫				1m ² ・1日当たり	
屋外試験エリア (多目的試験エリアを含む。)		65	33		

*1 対象エリアを分割して利用すること、また以下の設備を設備単位（設備ごとの面積）で利用することが可能である。ただし、以下の設備を利用した場合には、高さ 0m～10mまでの料金を適用する。
・試験用水槽：48m² ・モックアップ階段：43m² ・モーションキャプチャ：225m²

*2 対象エリア及び対象実験室を分割して利用することが可能である。

*3 ロボットシミュレータの利用も可能である。（ロボットシミュレータの利用料金は、各研究室の料金に含む。）

*4 1日当たり8時間を超える分の料金は徴収しない。

*5 研究管理棟内（利用者室1～3、共用会議室、講義室1、2、バーチャルリアリティ室、第1会議室、第2会議室及び多目的室を除く。）の場所を利用する場合に適用する。

*6 檜葉遠隔技術開発センターにおける一般料金のAに含まれる経費のうち、減価償却費については、補助金事業のため、含めないものとする。

注)

特別措置料金について

東京電力福島第一原子力発電所の廃止措置の推進に資する研究開発、人材育成の促進及び福島イノベーション・コースト構想におけるロボットに係る新製品・新技術の開発促進の観点から、特別措置料金を設定する。特別措置料金は、基本料金の施設の運転に係る経費（追加経費としての電気、水等の利用実費は除く。）の1/2を免除したものであり、以下の者が当該施設を利用した場合に適用する。

1. 高等教育機関（学校教育法（昭和22年法律第26号）で定める大学、高等専門学校及び専門学校）又は中小企業（中小企業基本法（昭和38年法律第154号）で定める中小企業者）
2. 東京電力福島第一原子力発電所の廃止措置に係る利用を行う者
3. 福島イノベーション・コースト構想に係る利用（ロボットの要素技術の開発及び実証試験並びに当該要素技術を組み合わせたロボット開発）を行う者なお、2.及び3.については、本施設の利用申請の具体的内容を踏まえ、特別措置料金の適用可否を判断する。

ふくいスマートデコミッションング技術実証拠点施設		(単位：円/時間) (税別)					
		成果非占有課題	成果占有課題		アカデミック利用 (教育機関(大学等)) 【基本料金3】	トライアルユース	備考
区分	研究・開発 【基本料金2】	産業利用 (福井県内に本 社を有する企 業等) 【基本料金2】	左記以外 【基本料金1】				
技術実証試験・交流棟	産業技術交流室	1,800	1,800	1,900	1,800	—	
	産学連携協力室	2,700	2,700	2,900	2,700	—	
	研究者室(1)	1,000	1,000	1,000	1,000	—	
	研究者室(2)						
	共同研究室	3,000	3,000	3,200	3,000	—	
廃止措置解体技術検証フィールド	複合現実感(MR)システム	13,600	13,600	29,500	6,500	0	
レーザー加工高度化フィールド	ロボット協調・レーザー溶断適応制御システム	9,100	9,100	21,400	6,100	0	
	解析用ワークステーション	300	300	900	200		<ul style="list-style-type: none"> ・1台/1hあたり(最大10台) ・SPLICEの利用を原則とする
廃止措置モックアップ試験フィールド	水中技術実証試験エリア (水中解体検証用タンク)	10,200 [※]	10,200 [※]	13,900 [※]	6,600 [※]	光熱水費実費	
	気中技術実証試験エリア(排煙浄化設備)						

※光熱水費は実費負担

上記の金額のほか、消耗品費(施設の運転に伴い発生するものを除く。)について実費を徴収する。また、利用者支援に係る経費(成果非占有に関するものを除く。)について機構の基準により積算した金額を徴収する。

1時間未満は、1時間と扱う。

個人線量管理費用(追加経費) ※各施設共通		
		(単位：円)
OSLバッジ	1,080	貸与数1個・交換又は返却1回当たり (以下同じ。)
中性子線量計 (OSLバッジ使用を含む)	1,220	
	1,900	線量を測定した場合

放射性廃棄物の貯蔵、処理及び処分に係る経費の算定に用いる放射性廃棄物の発生量

区分		廃棄物性状等			処分区分	発生量 (施設利用料金1点当たり) (単位：リットル)	
		表面線量率等	性状等				
固体 廃棄物	ベータ・ガンマ	A-1	0.5mSv/h未満、またはβ核種のみの場合3.7G (Sr-90は370M) Bq/容器未満	可燃物	紙、布、木片、酢ビ、ゴム手等	ピット処分	2.9
				難燃物	塩ビ、ゴム、フィルタ等	ピット処分	0.2
				不燃物(非金属)	コンクリート片、ガラス、土砂等	ピット処分	0.01
				不燃物(金属)	炭素鋼、ステンレス等	炉以外金属	トレンチ処分
			ピット処分			0.1	
		A-2	0.5~2mSv/h	可燃物	紙、布、木片、酢ビ、ゴム手等	ピット処分	0.1
				難燃物	塩ビ、ゴム、フィルタ等	ピット処分	0.02
				不燃物(非金属)	コンクリート片、ガラス、土砂等	ピット処分	0.02
				不燃物(金属)	炭素鋼、ステンレス等	炉以外金属	ピット処分
		B-1	2~4000 mSv/h、β核種のみの場合3.7G~370GBq/容器 (Sr-90では370MBq以上)	可燃、難燃	紙、布、木片、酢ビ、ゴム手、塩ビ、ゴム、フィルタ等	余裕深度処分	0.04
						地層処分	0.04
不燃物	コンクリート片、ガラス、土砂、炭素鋼、ステンレス等			余裕深度処分	0.04		
				地層処分	0.04		
液体 廃棄物	ベータ・ガンマ	A	H-3以外は0.37~37Bq/cm ³ 、H-3のみは3.7k~370kBq/cm ³	無機廃液	液体	ピット処分	3.0
		B-1	H-3以外のβγが37Bq/cm ³ ~37kBq/cm ³	Aに準ずる	液体	ピット処分	1.0